



平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東  
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月30日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日~平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	1,665	12.4	49	△72.7	48	△73.1	11	△89.4
25年6月期第1四半期	1,480	—	180	—	179	—	109	—

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 25百万円(△77.2%) 25年6月期第1四半期 110百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	0.79	0.77
25年6月期第1四半期	9.05	8.22

(注) 平成24年6月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	5,481	—	4,003	—	—	72.5
25年6月期	5,523	—	3,984	—	—	71.6

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 3,973百万円 25年6月期 3,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日~平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,478	16.7	587	△20.5	569	△20.2	254	△40.8	17.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) — 、除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年6月期1Q	14,825,200株	25年6月期	14,659,200株
26年6月期1Q	188,200株	25年6月期	188,200株
26年6月期1Q	14,598,315株	25年6月期1Q	12,049,026株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 [添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・平成26年6月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、本書提出日前日までの新株予約権の行使による増加株式数を反映させて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2012年度の医薬化粧品小売業におけるEC市場規模は5,010億円（前年比119.3%）、EC化率は4.02%（前年比0.38ポイント上昇）の成長となりました（経済産業省調べ）。当社が運営する「@cosme」においても、登録ブランド数が2万5千ブランドを超える一方で、ECで購入できるブランドはその内、数パーセントという状況ですが、医薬化粧品小売業においてはEC市場規模およびEC化率において対前年差は大きく成長しており、今後の拡大が期待されております。また、EC化が進むことにより、インターネット広告の重要性も高まると考えられ、今後のインターネット広告市場の拡大も期待されます。

このような環境の下、当社グループは、今期を転換点と位置づけ、事業改善や新規サービスへの積極的な投資を計画しております。その為、今期は増収減益を計画しておりますが、中期目標として掲げた2016年6月期売上高100億円、営業利益15億を達成すべく、国内外において事業を推進しております。

具体的には、組織を刷新し、プレミアム課金サービスの強化プロジェクトを開始した他、サロン検索サイト「ispot」の事業の見直し、新規サービス「ちぢまる」の開発（サービス開始は1月を予定）などの施策を展開してまいりました。

一方で、分散していたオフィスを統一し、業務の効率化を図るべくオフィス移転を行いました。年間を通じた賃貸料の増加以外にも、移転による一時的なコストの増加のため、当初、当第1四半期は赤字を見込んでおりましたが、人材の採用時期のずれやコスト削減に努めた結果、黒字転換となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は1,665,220千円（前年同期比12.4%増）となりました。利益面につきましては、本社移転により、一時的な費用が発生した結果、営業利益49,318千円（前年同期比72.7%減）、経常利益48,380千円（前年同期比73.1%減）、四半期純利益11,542千円（前年同期比89.4%減）となりました。

各セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① メディア事業

当第1四半期連結累計期間においては、ブランドファンクラブの掲載ブランド数が456件となり、順調に推移いたしました。一方で、オフィス移転による家賃増や移転に関わる一時的なコストが発生した他、前期、特に下期の社員増による人件費等が膨らんだことから、販売管理費が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は835,256千円（前年同期比17.0%増）、セグメント利益は3,558千円（前年同期比97.2%減）となりました。

#### ② EC事業

当第1四半期連結累計期間においては、前期に引き続き、「@cosme」からの誘導を継続したことから、「cosme.com」本店の販売が堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は149,714千円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益は15,527千円（前年同期比11.5%増）となりました。

#### ③ 店舗事業

当第1四半期連結累計期間においては、新規出店等は行わず、既存店舗の収益拡大に努めた結果、上野マルイ店、ルミネ池袋店の販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は521,986千円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は36,126千円（前年同期比139.2%増）となりました。

#### ④ その他事業

当第1四半期連結累計期間においては、エステサロンの検索サイト「ispot」のサービスモデルの変更と掲載店舗数の増加を今期一年の注力施策として進めており、その為の業務委託費等のコストが増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は158,263千円（前年同期比2.6%減）、セグメント損失は15,318千円（前年同期はセグメント利益13,571千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ42,051千円減少し5,481,578千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ244,482千円減少し3,765,158千円となりました。これは主に、現金及び預金が136,809千円減少したこと、受取手形及び売掛金が142,550千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ202,431千円増加し1,716,420千円となりました。これは主に、本社移転等に伴う有形固定資産の増加があったこと等によるものであります。

### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ61,026千円減少し1,477,933千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ294,454千円減少し841,142千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が94,280千円減少したこと、事務所移転費用引当金が36,828千円減少したこと、未払法人税等が133,160千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ233,428千円増加し636,791千円となりました。これは主に、銀行借入れを行ったため長期借入金が234,144千円増加したこと等によるものであります。

### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ18,974千円増加し4,003,644千円となりました。これは主に、新株予約権の行使等による資本金の増加13,270千円、資本剰余金の増加13,180千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年7月26日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(ポイントに関する新たな会計処理の採用)

従来、顧客に付与されたポイントの使用による費用の発生に備えるため、四半期連結会計年度末において将来利用されると見込まれる額をポイント引当金として計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、ポイント発行時にポイント発行額を債務認識する方法を採用しております。

当該変更は、当社グループでは、当第1四半期連結累計期間より、マーケティングツールとしてのポイントの付与サービスの拡充を行っていること、及び、マーケティングツールとしてのポイント活用を目的として外部企業に対するポイント発行を管理するためのシステムを整備し、ポイントの売買方式を採用したことに伴い、ポイント発生時にポイント発行額を債務認識することが、当社グループの財政状態及び経営成績をより適切に表示するものと判断したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,706千円増加しております。

なお、これに伴い、当連結会計年度の期首において、前連結会計年度末のポイント債務を流動負債(その他)として、38,264千円追加計上しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,707,881	2,571,071
受取手形及び売掛金	978,814	836,263
商品	188,012	216,924
その他	148,076	148,757
貸倒引当金	△13,144	△7,859
流動資産合計	4,009,640	3,765,158
固定資産		
有形固定資産	100,716	315,365
無形固定資産		
のれん	65,676	61,599
ソフトウェア	545,977	551,650
その他	62,636	121,201
無形固定資産合計	674,290	734,450
投資その他の資産	738,982	666,604
固定資産合計	1,513,988	1,716,420
資産合計	5,523,629	5,481,578
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	174,404	246,038
1年内返済予定の長期借入金	234,904	140,624
未払法人税等	142,135	8,974
賞与引当金	—	17,771
ポイント引当金	25,478	—
事務所移転費用引当金	36,828	—
その他	521,847	427,733
流動負債合計	1,135,597	841,142
固定負債		
長期借入金	395,801	629,945
その他	7,561	6,846
固定負債合計	403,362	636,791
負債合計	1,538,959	1,477,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,560,781	1,574,051
資本剰余金	1,497,813	1,510,993
利益剰余金	915,858	895,306
自己株式	△37,640	△37,640
株主資本合計	3,936,814	3,942,712
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,766	30,444
その他の包括利益累計額合計	15,766	30,444
少数株主持分	32,089	30,488
純資産合計	3,984,669	4,003,644
負債純資産合計	5,523,629	5,481,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,480,921	1,665,220
売上原価	458,557	610,393
売上総利益	1,022,363	1,054,827
販売費及び一般管理費	841,556	1,005,508
営業利益	180,807	49,318
営業外収益		
受取利息	161	297
受取手数料	748	746
その他	483	969
営業外収益合計	1,393	2,013
営業外費用		
支払利息	1,108	800
支払手数料	1,206	—
為替差損	—	2,120
その他	—	30
営業外費用合計	2,315	2,951
経常利益	179,886	48,380
特別損失		
固定資産除却損	1,189	—
特別損失合計	1,189	—
税金等調整前四半期純利益	178,696	48,380
法人税等	67,892	37,827
少数株主損益調整前四半期純利益	110,804	10,553
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,707	△989
四半期純利益	109,096	11,542

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	110,804	10,553
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	14,677
その他の包括利益合計	—	14,677
四半期包括利益	110,804	25,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,096	26,220
少数株主に係る四半期包括利益	1,707	△989

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 (千円)
	メディア事 業 (千円)	EC事業 (千円)	店舗事業 (千円)	その他事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	713,942	149,459	455,028	162,492	1,480,921	—	1,480,921
セグメント間の 内部売上高又は振替 高	—	1,581	2,635	40	4,258	△4,258	—
計	713,942	151,041	457,664	162,532	1,485,179	△4,258	1,480,921
セグメント利益	127,666	13,931	15,102	13,571	170,272	10,535	180,807

(注) 1. セグメント利益の調整額10,535千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 (千円)
	メディア事 業 (千円)	EC事業 (千円)	店舗事業 (千円)	その他事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	835,256	149,714	521,986	158,263	1,665,220	—	1,665,220
セグメント間の 内部売上高又は振替 高	—	4,826	5,336	202	10,365	△10,365	—
計	835,256	154,540	527,322	158,465	1,675,586	△10,365	1,665,220
セグメント利益又は損 失(△)	3,558	15,527	36,126	△15,318	39,894	9,424	49,318

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額9,424千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。